

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2024 3

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL : 03-3260-6331 FAX : 03-3235-4324

Mail : jwaf@jwaf.jp

発行責任者 / 川嶋高志 発行年月 / 2024年3月



鳥甲山

- 積雪期登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール！
- 平和と登山全国集会
「核兵器も原発もない世界の実現をめざして」

「厳冬期黎明」

厳冬期、この山の撮影は私のライフワークである。雪の付き具合や天気が気になり、降雪の後の好天を待ちわびていた。肌を刺すような寒さに、満天の星が沈み、僅かに見える山頂から朝日が徐々に広がり、稜線のカミソリ岩を赤く染めた。至福の時だ。

(吉樂隆志・清津山の会 / 新潟)

■遭難対策部

積雪期登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール！

当たり前のことだが、山で死んではならない。しかし、2月に入り戸隠連峰五岳で滑落事故が発生し、現在も行方不明。暖冬で積雪が少なくても、今年の春山は要注意だ！

今年1月から積雪期登山の事故が多発している中、会員の行方不明事故が発生した。1月上旬八ヶ岳では、氷瀑から岩稜帯へのトラバースで滑落事故が発生し、ピバークした3名がヘリ搬出された。その他、氷瀑や山スキー・積雪期登山の事故が各4件発生している。会員外でも、2月に入り北海道で雪崩による事故が相次ぎ2名が死亡。大山でも雪崩事故が発生し男性2人が行方不明となっている。暖冬の影響で降雪が少なかった各地の山やスキー場は、3月に入り大雪となり長野県の小谷村の風吹岳で10人が巻き込まれる雪崩が発生した。3月の登山は、不安定な雪質の影響で足元を取られる転倒事故や雪崩による事故も予想される。是非、以下の事例を参考に安全登山をお願いしたい。

■自然保護委員会

北陸新幹線京都延伸計画見直し署名のとりくみ

北陸新幹線京都延伸計画は、総延長の約8割を京都丹波高原国定公園と古都京都の地下をトンネルで通す計画で、未だ国から認可されていません。

現在の状況は、環境アセスメントの「方法書」の段階ですが、芦生原生林の隣の美山町田歌地区が、この計画には問題があるとして実地調査に非協力を貫き、実地調査が終わらないため、「準備書」の提出は予定から2年以上遅れています。

この計画には環境を壊す多くの問題点(膨大な残土の処分方法が未定、河川や京都盆地の地下水の減水・枯渇の恐れ、ヒ素が出る予測など)があり、地元で見直しや反対の声が広がり、推進を図る与党プロジェクトチームの当初の思惑通りにはいかなくなっています。(地元紙による2022年4月の府民世論調査では、計画推進は3割弱、再検討と中止は6割に達しています。)

労山は、自然環境を壊すこの計画の見直しを求め、2020年以来署名運動に取り組み、集約数は8,683筆(2024.3月時点)に達しました。これを「準備書」が出されるまでさらに広げ、計画を止め、見直しさせたいと思います。

それぞれの遭難事例では下記の原因がある

- 積雪期登山の体力と判断力不足
- 行動予定と行動時間の差
- 悪天予報を認識しての行動が欠如
- 天候悪化による道迷い
- ピバーク用装備の不携帯
- 積雪期登山の技術不足
- 日頃からの体調管理ができていない

積雪期登山については

- 装備の確認を怠らない(パーティ内ではダブルチェック)。
- ルートの状況を事前に想定する。
- 天候の判断を慎重に行う。
- 各自の体力や技術を的確に把握する。
- 特に今年は短時間の増える積雪の状況があることを考える。
- 天候悪化の低体温症が要因とする事故については、無理な行動を控え引き返す事も計画に入れ、時間に余裕のある行動を心掛ける。

全国のみなさん、署名の輪をもう一回り広げるためにご協力を呼びかけます。よろしくお願いします。

(自然保護委員 平尾繁和)

- ◇ 本紙8頁が署名用紙になっています。
- ◇ 環境アセスメントは「配慮書」→「方法書」→「準備書」→「評価書」→「報告書」の順に進みます。
- ◇ 署名は用紙に記載された京都府連盟へ送付ください。
- ◇ 北陸新幹線京都延伸計画については登山時報2023年秋号で特集しています。

「京都の地下を掘らないで！！」北陸新幹線京都延伸計画など、大規模開発の現状と課題

<https://www.jwaf.jp/publication/magazine/backnumber/2023/data/no581.pdf>



登山口での署名活動

■組織部

6月29-30日にオンライン併用で開催「平和と登山全国集会」

- ◇ 期日:2024年6月29日(土)~30日(日)
- ◇ 会場:東京セントラルユースホステル (飯田橋駅すぐ)
- ◇ 講演:野口邦和氏 (原水爆禁止世界大会運営委員会共同代表)
- ◇ 参加対象:登山会員、希望する人すべて
- ◇ 会場参加定員:80名、ZOOMは制限なし
- ★申込方法は4月初旬にHP等でご案内します。

核兵器も原発もない世界の実現をめざして

野口 邦和

(原水爆禁止世界大会運営委員会共同代表・非核の政府を求める会常任世話人)

ロシアによる国連憲章違反のウクライナ侵攻が3年目に入りました。この間、プーチン政権は核使用の威嚇を繰り返しています。昨年10月には、ウクライナの隣国ベラルーシに戦術核兵器を配備し、すでに実戦的運用状態にあります。ザポロージェ原発の占拠も続いています。一方、昨年4月にフィンランド、今年3月にスウェーデンがNATOに加盟しました。NATOは米国を盟主とする「核の同盟」です。軍事対軍事、核対核の悪循環は事態をいっそう悪化させます。

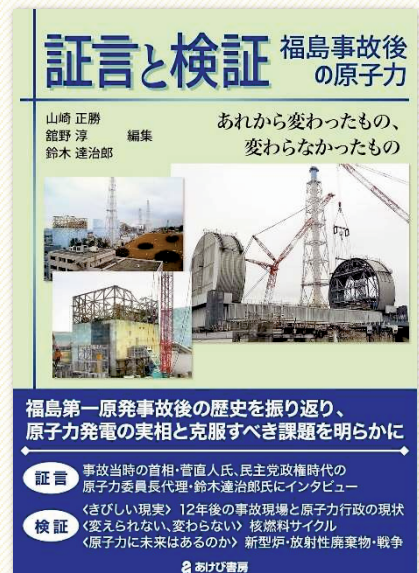
2021年1月に発効した核兵器禁止条約の署名国は93、批准国は70(今年3月15日現在)に達し、国際法として着実に前進しています。この条約を力に、草の根の運動と市民社会、各国政府の共同を大きく発展させ、今日の危機を乗り越えていかなければなりません。

講演では、核兵器をめぐる今日の状況を概括

し、核兵器のない世界の実現のために何をすべきかをみなさんと考えたいと思います。カギは被爆の実相を広め、核兵器の非人道性を告発することです。世界の核被害者との連帯の強化です。

原発問題についても触れます。昨年2月、岸田内閣は閣議決定により、原発の「依存度低減」から「最大限活用」に舵を切りました。原発の新增設、60年超運転と福島第一原発事故の教訓など忘れたかのような傍若無人ぶりです。今年1月の能登半島地震でも明らかなように、大地震・大津波に伴って原発の重大事故が起こったら、道路は寸断され、避難が迅速に行える保証はありません。家屋が健全な状態にあることを前提にした屋内退避も、家屋が全半壊する状態では「絵に描いた餅」です。昨年8月から福島第一原発で始まったALPS処理水の海洋放出の問題についても触れようと思います。

■野口邦和先生の近著 ※当日会場で販売します



労山基金 2024年2月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域名・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	通院日数
1	東京都	50代女性 10口	2023/02/26 13時00分頃	妙高・頸城・戸隠 乙妻山、北東面	山スキー	転倒	乙妻山北東面滑走中に転倒	左前十字靭帯断裂	通院50日 入院16日
2	埼玉県	70代女性 3口	2023/03/19 13時00分頃	関東・甲信越その他 三浦海岸の岩場	無雪期登山	転倒	三浦海岸のシーサイドハイキングの時に岩場を歩いていた。段差のある所でつまづき転倒左側の目、左足の膝やすね、左手首を岩に思いきりぶつけた。	左橈骨遠位端骨折	通院50日
3	静岡県	40代女性 10口	2023/05/03 16時00分頃	北ア 後立山連峰 蝶ヶ岳、まめうち平付近	積雪期登山	転倒	下山中、足が滑り、前方へ転倒。左肩・額・鼻を地面にぶつける。	顔面打撲及び鼻骨骨折	通院6日 入院3日
4	東京都	60代男性 5口	2023/05/20 8時30分頃	西上州・妙義 諏訪山、楢原コース1250m地点	無雪期登山	転倒	石の上で左足が滑り、左手で地面に手をついてカバーした結果、左肩に衝撃をうけた。	左肩打撲	通院11日
5	東京都	40代男性 5口	2023/05/27 11時00分頃	東北その他 三陸海岸の滝、アンモ浦の滝	沢登り	虫・動植物	海岸瀑を登攀中、水線からはずれ、藪の中に突っ込む。翌日から皮膚が痒くなり、数日かけて悪化。膿がでて、左手全体が膨れ上がってくる。症状が出ている場所は、両腕、陰部、両足のくるぶし、首筋。	上半身の皮膚のかぶれ	通院4日
6	鹿児島県	60代女性 5口	2023/05/19 10時00分頃	九州・沖縄その他 坊ノ浜に向かう道(116m付近)	登山道整備	伐採	登山道整備中、右手のナタガマでツルを切った際、勢い余って他の木の切断面が尖っている部分に強くあたった。消毒を繰り返したが腫れが広がり痛みも増したため病院を受診し、傷を切って膿を出してもらい、消毒に通った。	右手人差し指打撲裂傷 化膿	通院3日
7	兵庫県	70代女性 10口	2023/06/18 9時30分頃	六甲・金剛・和泉山系 摩耶山 山寺尾根～摩耶山～市ヶ原の間	訓練	虫・動植物	山寺尾根から摩耶山に登り市ヶ原に降りる間、昼食を含めて何度か休憩したときにダニに咬まれたと思われる。左足3ヶ所と右足1ヶ所。翌月曜日に右足の部分が赤くはれてきたので（直径10センチ超）に皮膚科を受診した。	ダニ咬傷（左足3ヶ所・右足1ヶ所）	通院2日
8	愛知県	70代男性 5口	2023/07/15 13時30分頃	富士山と周辺 富士山 富士宮口8合目付近	無雪期登山	転倒	「富士山登山ルート3776（富士山へ0からの挑戦）」登頂後、富士宮口八合目池田館でトイレ休憩。この後100mほど下ったところで足を滑らせてバランスを崩して前方に転倒した。山岳救助隊に救助され八合目にある富士山衛生センターで処置を受ける。後にブル道を15分ぐらい歩いた処で、静岡県防災ヘリで病院に搬送された。	挫傷（顔面・右膝・左太腿）、前歯損傷	通院13日
9	岐阜県	60代女性 5口	2023/07/16 10時00分頃	中部地方その他 沢上谷、岩洞滝への沢850m地点	沢登り	転・滑落	岩洞滝への遡上中に流れの強い箇所です足を取られ、左膝を内側に捻り転倒し2～3m流された。	左膝側部靭帯損傷・半月板損傷	通院41日
10	東京都	60代女性 3口	2023/07/14 10時30分頃	南ア 赤石・聖・光岳 赤石岳、東尾根	無雪期登山	転倒	榎島から赤石小屋までの東尾根、標高2210m付近の樹林帯通過中(赤石小屋まで約1時間手前)、木の根に足を取られて右足首を歪な方向に捻ってしまった。	右足関節三果骨折（内果骨折・後果骨折・腓骨遠位端骨折）	通院16日 入院19日
11	神奈川県	60代男性 10口	2023/07/23 19時00分頃	北ア 剣・立山周辺 劔岳、長次郎谷右股 標高2800メートル付近	登攀	転・滑落	チンネ左稜線登攀後、長次郎谷右股を下降中、雪渓が部分的に融雪したガレ場急斜面にて、前向きに転倒のうえ横転となり、左足を強く捻ってしまった。	左下腿骨骨折	通院45日 入院18日
12	道央地区	50代女性 10口	2023/08/13 15時00分頃	日高山系 ソエマツ岳 広尾郡大樹町	沢登り	転・滑落	段差のある細尾根を下降中、後ろ向きでクライムダウン中に握っていた木が折れてそのまま滑落した。危険箇所にも拘わらず三点支持での基本的な行動が出来ていなかった。又は、危険箇所の通過という認識に欠けていた。☆2023/11 救助捜索費用交付済み	腓骨傷性頸髄損傷・右第5頸椎髄節障害・第3頸右横突孔骨折・第7頸左横突起骨折	通院47日 入院9日

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域名・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	通院日数
13	兵庫県	40代女性 10口	2023/09/17 14時00分頃	六甲・金剛・和泉山系 六甲山 有馬への魚屋道	無雪期登山	転・滑落	六甲山から有馬への魚屋道にて、登山道崩落部分があり、横にロープを這わせて崩落部分の横を降りようになっている、ロープを持ってゆっくり降りていく際、足を滑らせバランスを崩し落下、右腰部横後面にあった岩で強打、右第11肋骨を骨折。	右第11肋骨骨折	通院10日
14	岡山県	60代男性 3口	2023/09/18 14時45分頃	大山・蒜山山系 下蒜山、犬狹峠登山口より入った 二合目付近	無雪期登山	転倒	上蒜山から縦走し、下蒜山から下山中に雨が降り始め、右足を横に滑らせて転倒した。右足をひねって少し痛くなった。歩いて下山し、帰宅した。翌日痛みが強くなったので、近所の整形外科で受診し、レントゲンを撮った。21日に大きい病院でMRIを撮った結果、右膝関節内側側副靭帯部分断裂で、2月程度の療養が必要となった。	右膝関節内側側副靭帯部分断裂	通院20日
15	石川県	50代男性 3口	2023/09/15 15時00分頃	北ア 後立山連峰 烏帽子岳、烏帽子小屋間の登山道	無雪期登山	転倒	烏帽子岳から烏帽子小屋へ緩い下り登山道で歩行中、少し足を滑らせバランスを崩した際、地面に右手薬指を突き指した。	右手薬指の突き指	通院8日
16	静岡県	50代男性 7口	2023/09/23 16時00分頃	南ア 白峰三山・塩見岳 北岳、大樺沢左俣登山道バットレス 沢出合いの下	登攀	転倒	北岳バットレスの取付きとなるbガリー大滝の下見をして、白根御池小屋へ向かう途中、バットレス沢と大樺沢左俣登山道出合いの下付近で、ザレた斜面で浮石を踏み、バランスを崩して転倒。2~3m滑り、右手の親指付け根と右目上を数センチ切る怪我をした。下山後整形外科にて縫合処置。	裂傷（切傷）・右上眼 瞼前額部・右手掌	通院4日
17	千葉県	50代男性 3口	2023/11/04 12時00分頃	南ア、鳳凰三山 白鳳峠から広河原へ下る樹林帯	無雪期登山	転倒	急斜面を下山中に転んで尖った大きな石の上に尻もちをついた。	尾てい骨骨折	通院3日
18	群馬県	60代男性 5口	2023/10/28 11時20分頃	西上州・妙義 水沢山（榛名山） 船尾滝周回コース	無雪期登山	転倒	9:30水沢観音出発。10:15山頂。水沢山西口登山口に向けて下山開始。11:15西口登山口到着。船尾滝周回コースに向う。船尾滝周回コースで船尾滝へ向う下山路にて足を滑らせて転倒した。転倒した場所に岩があり、左肋骨を強打した。	左第7肋骨骨折	通院8日
19	埼玉県	60代男性 5口	2023/11/09 11時00分頃	関東・甲信越その他 御前ヶ遊窟、蜷沢下部	無雪期登山	転倒	鍬沢渡渉後、蜷沢に入った直後の岩のヌメった斜面で横向きに転んで肩から斜面にぶつかった。数日しても痛みが取れないため、整形外科を受診した。	左鎖骨骨折	通院35日
20	新潟県	50代女性 10口	2023/11/03 9時00分頃	越後三山・未丈ヶ岳・苗場山 未丈ヶ岳、新潟	無雪期登山	転倒	先行の同行者がつまづいたので声を掛けて歩いていたら、自分も小さな木の根でよろけてしまい左腕が茂みの中に入り、枝で負傷してしまった。	左前腕挫傷	通院6日
21	岡山県	60代女性 10口	2023/11/24 4時20分頃	九州・沖縄その他 開聞岳、2合目登山口より登山開始 20分後の段差	無雪期登山	裂傷	早朝登山でヘッドランプの灯かりにて登山中、段差を乗り越える際に左側の木の枝（最近伐採された様子で尖っていた部分）に頭を打ち裂傷を負い出血した。登山は中止し、止血しながら下山。救急車要請、病院にて3針縫合治療。	裂傷	通院5日
22	兵庫県	50代女性 3口	2023/11/21 15時00分頃	グラビティリサーチM-INT神戸	人工壁		人工壁の突起であるホールドを強く握り過ぎ、左手人差し指の血管が損傷した。左手人差し指の第1と第2関節の間が内出血で硬く腫れ、指の曲げ伸ばしや物が当たると痛いので、整形外科受診。針を刺し血の塊を出す、腫れや痛みは改善せず4日後再診。麻酔で患部を切開し、血の塊を除去し3針縫合。	左手人差し指の皮下血腫	通院6日
23	新潟県	20代女性 10口	2023/11/26 12時00分頃	東北その他 杉滝岩、内ノ倉ダムの奥杉滝岩 (ルート名：アデランス)	訓練	転・滑落	アイゼンを着け、マスターでの登攀中に足が滑り落下。左大腿部側面に岩に擦り負傷。落下距離は少なかったが、負傷部の着衣は切れ、肌が露出した。	左大腿部挫傷	通院4日
24	岩手県	50代男性 10口	2023/12/22 20時00分頃	南ア 甲斐駒・仙丈 甲斐駒ヶ岳、黄蓮谷右俣	氷瀑	凍傷	9合目あたりで気温も低く風もあったため、左手指先が凍傷になったと考えられる。七丈小屋に着いてから少し時間がたってから、痛みで凍傷だと気付いた。	左手中指と薬指の指先の凍傷	通院5日

※口数等：（団＝団体口数、（個＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

2月6日から3月5日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	1.13	神奈川	50	女	八ヶ岳・峰の松目	氷瀑	転倒	凍ったロープが弛み、後ろへ転倒し右腕を強打した。	肩腱板断裂
2	1.3	東京	78	女	シダゴ山	無雪期登山	転落	尖った根に躓き横長の根に左上目の額を打ち切った。	切傷
3	1.28	東京	65	男	乗鞍岳	氷瀑	体勢	右足を踏み抜き左足を内側に捻り靭帯を損傷した。	左足内側側副靭帯損傷
4	1.24	神奈川	68	女	広沢寺	訓練	転倒	徒渉中、滑る石で前方に右手を着いて転倒した。	左足内側側副靭帯損傷
5	1.24	道東	45	女	室内ジム	人工壁	転・滑落	ボルダリング中に転落し、着地時に膝を損傷した。	内側側副靭帯断裂 脛骨挫減傷
6	1.12	長野	36	男	室内ジム	人工壁	転・滑落	クライミング中に転落し、マットの薄い箇所に背中を底打ちした。	第一腰椎圧迫骨折
7	1.27	東京	62	女	衣張山	無雪期	転倒	下山途中に転倒。木にぶつかり肋骨を折った。	肋骨骨折
8	2.04	和歌山	65	男	黒嶽	無雪期	転倒	木の根が濡れており滑って横転し、右肩を捻った。	右肩打撲による捻挫
9	2.11	東京	35	男	米子不動十八幅滝	氷瀑	落水	リード登攀中、落水を受け、右頬に約4cmの切創をした。	右頬切創
10	2.11	静岡	71	女	霧ヶ峰	スノーシュー	転倒	アイスバーンに足を滑らせ転倒した。	膝圧迫骨折
11	2.08	神奈川	68	男	日金山	無雪期	転倒	下降中、バランスが崩れ前面から落ち右手薬指が裂傷した。	裂傷
12	2.12	栃木	64	女	熊野岳	積雪期	転倒	凍った地面に足をとられて転倒し、その際付いた右手首を骨折。	右橈骨遠位端骨折
13	1.26	群馬	67	男	水上高原	山スキー	転倒	下降中、隠れていた木に右足が引っかかり転倒した。	左膝内側側副靭帯損傷・半月板損傷
14	2.11	道北	58	女	タケノコ山	山スキー	転倒	下降中、雪の塊に躓いて転倒し、足をひねった。	左ひざ前十字靭帯断裂
15	2.24	栃木	58	男	戸隠連峰	積雪期	転・滑落	下山中に、滑落し行方が分からなくなった。	不明
16	2.27	東京	75	男	トナム山	山スキー	転倒	下降中に転倒し、踵が伸びアキレス腱を切断した。	アキレス腱切断

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	2	0	1	4	1	0	0	8
女性	0	0	1	2	3	2	0	0	8
合計	0	2	1	3	7	3	0	0	16

形態	無雪期	スノーシュー	沢登り	氷瀑	冬季登攀	登攀	人工壁	訓練	合計
男性	2	0	2	2	1	0	1	0	8
女性	2	1	1	1	1	0	1	1	8
合計	4	1	3	3	2	0	2	1	16

原因	墜落	転落	滑落	転倒	虫・動植物	体勢	病気	その他	合計
男性	0	2	0	4	0	1	0	1	8
女性	0	1	0	7	0	0	0	0	8
合計	0	3	0	11	0	1	0	1	16

傷病	骨折	挫傷	打撲	裂傷	断裂	刺咬傷	損傷	その他	合計
男性	1	1	0	1	1	0	2	2	8
女性	4	0	0	1	3	0	0	0	8
合計	5	1	0	2	4	0	2	2	16

■ 遭難対策部 急増している転倒事故に注意を

3月5日までに届いた事故一報は、16件16名。2月24日に戸隠連峰西岳P1尾根で50代の男性が下山中鎖場でのトラバース中に30m滑落し、その後暖傾斜を50m転がり、その先の崖から転落した。現在行方不明である。今月の事故原因は、転倒が11名。内訳は、積雪期や氷瀑・山スキー・スノーシューが6名、無雪期が4名、訓練が1名だった。転・滑落が3名。落水とその他(体勢)が各1名。登山形態は、無雪期が4名。積雪期が2名。氷瀑が3名。訓練が1名。スノーシューが1名。山スキーが3名。室内ジムが2名。下山中の事故は8件、内7件が転倒事故となり下山中の転倒事故が前月同様約9割を占めている。2023年の事故者数は、366人。転倒(体勢含み)事故は、202人

で約6割発生している。転倒では、出発前の駐車場、グレンデの簡易トイレに行く途中、ロープウエーの山頂を出た所、下山終了前の林道で転倒する事例が発生している。4人とも女性である。高齢により足腰や反射神経の衰えはあるが、注意すれば防げる転倒事故である。2022年と2023年の傾向として女性の転倒事故が急増している。さらに、下山時の事故は174人中136人(約8割)の転倒事故が発生している。転倒防止については、上り下りの登山フォームを我々登山者が客観的把握を行う事も必要。トレーニングについても平地の歩行とは異質な運動という点からも具体的な方法を会員に示す事が、今後課題だと考えている。

(遭難対策部長 石川昌)

▲ 全国連盟の活動

2024年3月

2 千葉県連総会、3 北海道道央地区連盟総会、同日群馬県連総会、同日東京都連盟総会、同日石川県連総会、同日静岡県連総会、同日愛知県連総会、同日滋賀県連総会、同日京都府連総会、同日奈良県連総会、同日和歌山県連総会、同日香川県連総会、6 遭難対策部会、9-10 新日本スポーツ連盟総会、10 栃木県連総会、同日神奈川県連総会、同日長野県連総会、同日大阪府連総会、同日山口県連総会、同日福岡県連総会、12 三役会、同日自然保護委員会、13 海外委員会、14 登山と文化の教養講座(冬)、16 鳥根県連総会、同日愛媛県連総会、24 新潟県連総会、26 労山基金運営委員会、26 第1回理事會、31 埼玉県連総、同日岐阜県連総会、同日広島県連総会

2024年度主催者賠償責任保険の募集を開始します

主催者賠償責任保険を開始し2年が経過しました。事故もなく順調に推移したので、昨年からは地方連盟に加え、会・クラブにも対象を拡げて取り扱うこととなりました。間もなく2024年度の募集を開始しますので、ここに概要を案内いたします。詳細と申込書式は4月1日に労山HPへ掲載するのでご覧ください。

当保険は・・・登山山学校・ハイキング学校(セミナー)、公開ハイキング、市民ハイキングなどにおいて、万が一事故があり、事故者から当該主催者が裁判などで訴えられた場合に有効な制度です。

有効期間 2024年5月1日午後4時～2025年5月1日午後4時まで

申込期間 2024年4月1日～4月26日

申込内容 所定の書式にて※

- ① 申込者(地方連盟又は会)の名称
- ② 理事長又は代表者名
- ③ 行事の名称及び参加見込み者数※
- ④ 実施要項があれば添付

報告 毎月末日までに、前月1カ月間に開催した行事の参加者数を報告する※

※は昨年とは異なる点です。ご注意ください)よろしくお願ひいたします。

労山基金運営委員会

★JWAFJournal2月号2ページ記載の竹本幸造理事の所属会は、「清水勤労者山岳会 CHC」です。訂正いたします。

▲ 部・局・専門委員会の活動

■ 労山基金運営委員会

交付申請の円滑な審査に、ご協力を！

[交付の特典] 規約の細則-3を有効活用するために、労山会員の軽登山の事故に対して定められた加入口数の3倍まで交付(最大10口)する特典。山行計画の途中において、5条件を満たすことが条件となっている。(1)岩場、沢、雪、海外を除く、(2)標高2000m以下、(3)標準コースタイム5時間以内、(4)日帰り、(5)既設登山路(昭文社の山と高原地図の破線は対象)。交付審査時に、山と高原地図や登山案内の本、地方自治体が発行しているハイキングマップ等で既設登山路とコースタイムを確認しようとするが、不明瞭な場合があり、申請団体に資料を再提出してもらうことがある。審査をスムーズに行って早く交付できるように、交付特典を申請する時には、既設登山路とコースタイムの資料を添付して頂きたい。YAMAPの地図とコースだけを添付されても、登山コースも曖昧で判断に苦慮することが

ある。当該山行が交付特典が適用されるかどうかは、労山基金運営委員会(毎月1回審査)が認定する。宜しくお願いします。(労山基金運営委員 陶山正)

■ 海外委員会

交流集会の記念講演は近藤和美氏に決定

海外山行交流集会での記念講演講師を近藤和美氏(労山名誉会員)に打診し、了承を得た。第1回委員会で選別した海外山行計画書の中から、海外山行調査用紙に記入してもらい依頼を各委員に割り振る。集会でどの隊に報告をお願いするかは、その調査用紙が届いてから決める。集会の規模は40人位とし、web配信も併用する。宿泊を希望する人への対応は全国連盟事務局が協力してくれる事になった。24年度の委員会レジメ、議事録、ジャーナルへの報告担当は持ち回りで行う。登山時報夏号に集会開催の案内を載せる事を再確認。その他として、埼玉県連で今年行われる海外山行についても集会で報告してもらう。

(海外委員 清野嘉樹)

北陸新幹線の京都延伸にかかる要望書

北陸新幹線の小浜以西の延伸が、京都丹波高原国定公園を縦断し京都市内から松井山手を経て大阪へ伸びるルートで計画され、その環境影響評価の手続きがすすめられています。

それによると国定公園内は長大なトンネルで通過し、第一種特別地域の芦生の森はルートから外すとされています。しかし、事業実施想定区域及びその周辺には希少な動物・植物の生息・生育地や、京都丹波高原国定公園、京都府歴史的な自然環境保全地域（片波川流域）等が存在する地域です。気候変動による影響も加わりこの地域に生息・生育する動植物・生態系は、絶滅の危機に瀕し生物多様性の喪失が懸念されています。ルート帯には由良川・桂川・鴨川の水源があり「希少植物生育保全地区、管理地区」の雲ヶ畑地域や国の天然記念物深泥池があり、それらの地下水脈への影響が懸念されます。また、レッドデータブック記載のイヌワシやクマタカの生息域でもあり、トンネル工事や工事車両通過に伴う騒音・振動・排気による周辺に生息する動植物や生態系への影響も懸念されます。トンネル工事で出る大量の土砂の搬出先はどうなるのかも問題であり、そもそも自然環境への影響が一番大きなこのルートが費用対効果を見捨ててなぜ選定されたのかも不明です。山をフィールドとして活動する登山者として、京都の山の豊かな自然を守り次世代に引き継ぐために、北陸新幹線の延伸に関し下記のことを要望します。

記

- 1 京都丹波高原国定公園を縦断する現行計画案は、山岳・自然など環境への影響が大きく環境破壊の懸念が生じます。現行ルートによる計画の見直し・再検討を求めます。
- 2 現在すすめられている環境影響評価の手続きにおいては、貴重な自然への影響を専門家はもちろん地域で活動する自然保全団体等の意見を積極的に聞き、その意見をふまえた厳密で十分な調査を行い、結果をすべて公表することを求めます。そして自然環境への影響が明らかになった場合は、計画の凍結・見直しを検討されたい。

	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		

注：この署名で頂いた個人情報は、個人情報保護法に則り適切に保管し利用目的以外に使用しません。

<取扱い団体> 京都府勤労者山岳連盟

〒616-8042 京都市右京区花園伊町 4

FAX 075-275-0453

E-mail Kyoto_waf260@dab.hi-ho.ne.jp